

平成30年度京都市はぐくみ推進審議会 第2回ひとり親家庭支援部会 摘録

日 時 平成30年7月19日（木）16：00～17：00

場 所 京都市子ども若者はぐくみ局会議室

出席者 埋橋孝文委員，西恵味委員，草野政子委員，小林正委員，
(4名)

欠席者 指宿達也委員，芹澤出委員 (2名)

次 第

<議 題>

京都市ひとり親家庭に関する実態調査について

(司会：廣山 子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子ども家庭支援課自立支援係長)

司会	<p>ただいまから、京都市はぐくみ審議会、第2回ひとり親家庭支援部会を開催する。</p> <p>本日の会議については、市民に議論の内容を広くお知りいただくため、京都市市民参加推進条例第7条第1項の規定に基づき公開することとしている。あらかじめ御了承いただきたい。</p> <p>それでは、ここからの議事進行は、埋橋部会長にお願いする。</p>
埋橋部会長	<p>では、議事に入る。</p> <p>本日の部会は、委員から頂いた意見を反映させた「京都市ひとり親家庭に関する実態調査」の調査項目について各委員の意見を伺いたいと考えている。</p> <p>では資料について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料2、資料3について説明</p>
埋橋部会長	<p>各委員からの意見について反映できたものについて説明頂いたが、反映できなかったものについても意見があれば伺いたい。</p> <p>問53については、2つの意見があったが、ひとつは表現が少し不適切ではないかという意見であった。</p>
事務局	<p>設問がネガティブな表現となっていたので、それを自分の中で克服した体験があれば記入いただきたいという表現にした。</p>
埋橋部会長	<p>もうひとつは前回の調査結果では偏見に苦しむというのがもっとも多い回答であったが、どのような偏見に苦しんだかが不明であったので詳しい分析が必要ではないかという意見であったが、前回調査と設問の趣旨が変わっているのではないか。</p>
事務局	<p>自由記述欄がポジティブな内容を求める質問項目となったので変わってくることはあるかと思う。</p>
埋橋部会長	<p>施策への反映となると、偏見に苦しむその中身がわかったほうがいい。今回のような形にすると、心構えなど個人の努力のようなニュアンスが強くなって、施策への反映から遠くなるのではないか。</p>
事務局	<p>委員からの意見を踏まえ今回の案となったが、偏見の中身を聞くとす</p>

	ると別項目を設ける必要が生じるのではないか。
小林委員	今回の設問では、苦しんでる方がこういう形で気分転換をしたような事例を知ることでは良いと思うが、行政施策として啓発などを進めていくとなると、前回調査でもっとも多かった偏見については深追いをする必要があるのでないか。
埋橋部会長	変更ができないとすれば、前回調査の詳細についてどこまで公表できるかは別にして、行政の中で記録に留めておいて次回調査の参考とするべきではないか。今回の調査項目に加えることはできないか。
事務局	偏見に苦しんだ経験の有無を聞いたうえで、内容を聞くといった形の設問を検討する。
埋橋部会長	回答者が苦痛に感じるような設問であれば気をつけなければならないが、そういうことを除いてしまうと真に迫らないものになってしまう気もする。
小林委員	前回調査で68件ということだが、自由記述なので68件だが選択式とすればもっと多くなるのではないか。次に多いのは経済的に苦しいとなっているが、国としてもひとり親世帯が経済的に苦しいという根拠がありそれに基づき施策を行っている。偏見という今の時代にあってはならないものが実際どういう内容でどの現場で起こっているかを知ることがとても重要なことなのではないか。
事務局	問50のところで「世間には偏見がある」という選択肢があるのでそこを選択した場合にさらに内容について回答いただくことで深掘りができるのではないか。
西委員	感想になるが、アンケートについては矢印で回答を誘導するなど工夫されていると感じる。
事務局	設問の配置については、業者の方の意見も取り入れさせていただいた。
小林委員	問52はひとつだけ選ぶとあるが、3つくらい選んでもよいのではないか。
埋橋部会長	自由記述につながる場所に番号を選べるようにすればよいのではな

事務局	<p>いか。選択肢が16もあればひとつに絞ることが難しいのではないか。</p> <p>選択肢を減らすことも検討する。</p>
埋橋部会長	<p>他に意見がなければ、実態調査については、全体会議で他の調査も含めて報告がなされ、9月上旬に調査が実施される予定となっている。</p> <p>調査結果がまとまれば、来年の3月頃に部会を開催する予定となっている。各委員からは2回にわたり貴重な意見をいただき感謝する。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>